

平成28年5月定例教育委員会 会議録

- 1 開催期日 平成28年5月27日(金)
開会 午後2時00分
閉会 午後3時35分

- 2 開催場所 役場 2階 会議室

- 3 出席者名 委員長 諸 橋 志津子
委員 宮 下 静 子
委員 原 田 光 雄
委員(教育長) 布 施 東 雄
(委員 不二井 悟 史) 欠席

(局 長 岡 本 伊佐夫) 欠席
次 長 宮 本 浩 司
次 長 荒 木 秀 人
係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

- 報告第21号 穴水町立公民館臨時的職員の任命について
報告第22号 穴水町奨学生選考委員会委員の委嘱について
報告第23号 穴水町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
報告第24号 穴水町青少年問題協議会委員(豊かな心を育む穴水町民会議委員)の
委嘱について
報告第25号 穴水町男女共同参画推進委員会委員の委嘱について
報告第26号 穴水町立小中学校評議員の委嘱について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から、学力テストについての報告、県へき地教育振興会理事会についての報告、管内教育長会議についての報告、ふるさと教育についての報告があり、会議録署名員に原田委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、報告第21号から報告第26号について説明があり、質疑応答が行われ、承認されました。次に、6月の定例教育委員会の開催期日を6月24日(金)午後2時と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

5月 定例教育委員会議事録

ー 委員長挨拶 ー

先般の教委連定期総会並びに講演会のご出席、ご苦勞様でした。

総会の前に理事会がありまして、行ってきました。意見交換で、28年度の各教委の重点的取組みについて話すのですが、半数が新教育長となりまして、情報交換というよりは、その自治体の教育の方向性を発表される教育長が多かったです。その中で、県下このようなことが行われているというところをお話させていただきます。

加賀市は、ロボット教育を行って、小中学校の教員がプログラミングに慣れ親しみ児童生徒におろす、ということに力を入れているそうです。そしてもう一つ、土曜学習で算数特区を取り入れて、年間34回行うということです。

能美市は、コミュニティスクールを立ち上げるために、今年度の課題であるということです。

小松市は、科学教育は元なのですが、懸念していることが、若手教員が増加し現場がちょっと混乱しているという大きな現状があります。小松市は、市の指導主事もいるわけですが、今そのところが課題です、とのこと。それと学力が二極化しているという現状をどうしていくか。その二つのこぶ、左側のこぶを右側に持っていくという、そこが学力向上の一つの課題ではないかということです。

白山市は、インクルーシブル教育のために、学校にエレベーターを付けたそうです。児童生徒の少人数に関わらず、個々の障害に対しての自治体の教育へのあり方というのをここで出してこられたということです。あと、定例会の活性化を図りたいとおっしゃっていました。

野々市市は、児童生徒が90人増加したそうです。そこで出てきた問題は、不登校が出てきたということで、その対策に苦慮しているということです。

内灘町は、スクールカウンセラーを各校1名配置し不登校対策をしているということでした。また特認校として町外から今年6人の転校があったということです。

宝達志水町は、保・小の統合が今年度行われていく、ということです。

中能登町は、就学前教育をもう少し充実させれば小1プロブレムというものが解消されるのではないかと、ということで保・小の連携に力を入れて取り組んでいく、尚且つ外部講師を入れて学力向上に力を入れていくということでした。学力向上は教師の方の資質向上であります。

七尾市は、人口減少に伴っての対策として、これが七尾の教育だというものを打ち出していきたい。それを今後の総合教育会議に出していきたいということでした。

輪島市は、学校教育研究会というものを昨年から取り上げて、研究主任が発表する場を設けて研究主任を育てる、ということを行っているということでした。

金沢市は、大変問題が多いが、特別支援員にタブレットを持たせている。また、特別支援員の時間数を増やしたということで、ここは私たちも見習ってもよいのではないかと思います。また、教職員の健康問題、退出時間も含めて市教育委員会でも管理できるようにして、管理職含めて指導にあたっているということです。

子ども達はどうかのだろうか、そこに子どもいないということに少し寂しい思いがしました。

今、日本では伊勢志摩サミットや、またオバマ大統領の広島訪問で賑わっていますが、伊勢志摩には、やはり、青春文化のふるさとという思いがあるのでしょうか、また広島は戦争と核廃物のことがメインにあるのかと思いますが、今日本に起こっていることを小学生中学生がどのような思いで自分の中に取り入れている

るか、ということをちょっと聞いてみたいなという思いがあります。社会認識と同様に今の日本に起こっていることを子ども達にしっかりと見つめさせていきたいと思います。

本日も大事な議案ありますので、審議のほど、よろしくお願いいたします。

－ 教育長報告 －

学力テストの自校採点が出ました。

(途中省略)

今年の中学3年生も、昨年の3年生に負けられないと勉強にも部活にも頑張る雰囲気ができてきています。これはやはり先生方が組織的な対応で、全ての生徒に対して全ての教科について組織を作って対応しているその結果が出てきたのだらうと思っています。教科ごとに2、3人の先生方ですがそういう話し合いが持てる場があることが結果になっているのではないのでしょうか。

小学校は、クラス担任制で全ての教科をやらなければならないというところを今後どのようにして先生方の授業改善に繋げていくか、新しい校長の下で取り組んでいければと思っています。

珠洲市が比較的良いのですが、複式になるくらい小さな学校だと上手くマッチングすると大変いい点を取るといことです。

23日に県へき地教育振興会理事会に行ってきました。参加市町が、市は8市、町は津幡と穴水2つだけです。複式学級のある町が2つということです。

複式が無いのは、能美市、野々市市、かほく市、町は統合がどんどん進んでいまして、川北町、内灘町、宝達志水町、志賀町、中能登町、能登町の3市6町です。

加賀市、小松市、白山市は学校適正規模検討委員会を作って、複式解消に向けて、統合や合併を考えながら、今後、検討していきたいということです。

珠洲市、輪島市、七尾市では、まだまだ小さな学校がありまして、なかなか解消は困難ということです。

今夏、珠洲市で東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会が行われ、300人近い教職員、関係者が集まります。珠洲市では宿泊所が無いので、民間の民宿や、また輪島に応援をいただこうと思っています。メンバーが減っていき、参加する市町村が少なくなっていくということが起こってきています。

26日には管内教育長会議があり、やはり人材育成が大事で、どこの学校もその地域もベテランが多くて、30～40代が非常に少なく、若い教員が爆発的に増えているという状況の中で、学校の組織構成のバランスが悪くなっています。中堅に次期管理職としての人材育成をしていかなければならない中で研修に参加してくださいと言っても学校現場は手薄で大変先生方に忙しい。そういう状況がたくさんあって、そういう意味でのバランスが大変悪いです。また新採の育成が非常に難しく、講師を何年もした新採ならよいのですが、大学を新卒の新採には挨拶の仕方から全てを教えなければならない、対保護者の対処の仕方等、県もそれを察知していて、新採副担任制を採用し初任研等に出やすい環境を作ると同時に、社会人としての作法まで教えることも含め、新採者を支援する副担任がほぼ常時付いているので学校長も大変助かっていますということです。

それと並行して多忙化対策として夜遅くまで残っている先生が非常に多いということで実態調査に入る。具体的には、誰が何時までいたかチェックをきちんとして管理職が答えられるようにしておくこと、まず週案のチェックを入れる、土日の部活動がどういう状況なのかということも含め対策をしていこうということです。

お話を聞いていますと、新採を2、3年育てて、しっかりしてくると、3年目から金沢に帰りたがる、また

新採が来て、そういう状況を繰り返すということです。

穴水中学校ではOJTを実践、新採一人に生徒指導、教科指導、部活指導を3人態勢で指導なり育成に努めていると話しましたが、若い人たちが育っているということは事務局もわかってくれていますし、初任2年目の先生方も積極的になって生徒と接していますと聞いていますので、心配はないかと思います。

4番目に24日に、ふるさと教育で穴水小学校の5年生が田植えを行いました。下唐川地区の田んぼを1枚提供していただき行ったのですが、今年の児童は規律正しく、早く、あっという間に終わり、補植に来て下さった地域の方にもびっくりして喜ばれました。児童の中には生まれて初めて田んぼに入るので、最初田んぼの畦に座ったまま動かない児童もいたのですが、先生が畦の固いところにまず立たせたら、人より遅くはなりましたが、自分の持ち分をちゃんと植えていました。秋には稲刈りも保護者と一緒に行いますのでそのことも楽しみですし、終わってから先生が「生まれて初めて田んぼに入った感想を言いなさい」と言うと、パパパッと皆、手を上げて感想を言う、このような行事、体験を通して、やってよかったなあという目で見させていただきました。

最後に6月2日に総合教育会議が開かれます。複式学級のことや統合のこと、データを見ながら、最後にはもう少しこの場で皆さんに検討していただくこともありますので、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

諸橋委員長 皆さん、教育長のお話の中で何かありましたらご質問ください。

ございませんでしょうか。

ふるさと教育は5年生ですね。学校田が近ければ理科とリンクしてよいのですけれどね。

教 育 長 先生方がおっしゃっていました。映像等データ見せるよりも、このように直に田んぼに入り経験することはよっぽど効果があるとのことでした。

諸橋委員長 データを取って稲の発芽の様子を観察する。理科離れしていくと言いますが、そのあたりが行事は行事で終わっていくので、そのあたりを上手く使ったらいいですよ。

教 育 長 いいですねえ。総合の時間もありますのでね。

諸橋委員長 人材育成の件ですが、大学とも関係しますが、教育実習で現場におりてくる学生がそこでついた先生の指導法が最初の指導なのですよね。人員の中でなかなか難しいでしょうが、子ども達の扱いが、また板書が上手な先生につかせるのが現場の気配りなのではないでしょうか。生徒が凛々しいからではなく先生が教師力を持っているというそういう先生のところにつくのが一番早いと思います。管理職でも一緒かと思えます。

教 育 長 県が大量の採用をするのもあと数年かと思いますが、だんだん地元出身の先生がいなくなる。穴水はまだ先生がいるほうですが、トップクラスの進学が理系や経済で教育系に進まないのです。今の50代の先生が大量退職をすると、穴水出身の先生はほとんどいなくなります。あとが心配です。

諸橋委員長 今、星稜大学が頑張っていますね。

－ 議事 －

荒木次長 報告第21号から報告第26号について説明

諸橋委員長 準備されました案件が終わりましたが、委員の皆さん、何かございませんでしょうか。無いようでしたら、その他へいきます。いじめ・不登校です。

朝倉係長 (詳細説明)

諸橋委員長 他にありませんでしょうか。ではその他の2番目、町総合教育会議についてです。

荒木次長 (詳細説明)

教育長 アンケートについて、持ち帰って確認願えればと思います。

諸橋委員長 では、事前打合せの時間を少し早くしましょう。1時30分ですね。で、言葉としては、統合ですか、整備ですか。

教育長 2校なので統合ですね。交通便の問題等、統合する方だけの問題ではありません。

諸橋委員長 不公平感をなくすということですね。

教育長 先であっても、そのためのデータは早くから取っておいた方がいいですね。

諸橋委員長 2020年人口問題が動くということは誰も知っているのですね。では、月曜日までに意見をお願いいたします。では、6月の行事予定です。

荒木次長 (6月行事予定について説明)

諸橋教育長 では次回の定例教育委員会の日程です。

(日程調整)

諸橋委員長 では、次回の定例教育委員会は、6月24(金)午後2時から行います。よろしく願いいたします。他にありませんか。

ところで、保護者との懇談、教員との懇談はどういたしましょうか。

宮本次長 本日、町PTA連合会の役員会がありますので、意見を聞いてきます。
諸橋委員長 以上、これで定例教育委員会を終わりたいと思います。
本日は、ありがとうございました。

以上

穴水町教育委員会会議規則（昭和31年教育委員会規則第2号）第15条第2項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
